

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム南串山荘

作成日: 平成 29年11月2日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明し、重度化でどこまで対応するかの説明をして同意書を得ておく。	どの程度まで対応するのか、職員、利用者家族に周知する。	重度化や終末期に対しての職員の知識や決め事を明確にして、ご本人、ご家族に説明、理解を頂き同意書にサインを頂く。	6ヶ月
2	35	ハザードマップを入手し近隣の危険地域の確認をしておく。また、持ち出し用の一人ひとりのフェースシートに本人確認がしやすい様に全身の写真も載せてしておく。	災害時にスムーズに安全保障できる様に日頃より備えておく。	ハザードマップを入手し職員で話し合い、訓練や協力体制を強化し、災害に対しての知識を高める。	3ヶ月
3	65	運営推進会議を通して地域住民や地元の関係を深めたい。会議参加者が毎回同じである。	日頃よりご家族との意見交換の場を作る様に努める。	ご家族が参加して頂ける様、興味がわくような会議内容を計画、案内文を送る。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。